今後の予定

2025年(令和7年)

9月22日月曜日 Ver.88

発行所 さいたま市浦和区元町1丁目28番17号 ☎(048)886-2151

☎000-0088 管理センタ-

> 奥澤 走幅跳2位 200m4位 県大会が勝負です。

走幅跳は、ベストに及びませんが県大会に向けていい準備が出来 ました。200mはまだまだ慣れていない部分もありますが、県大会 でも決勝を目指してほしいです。

奥澤:「200mでは25秒台を出すことは出来なかったけれど、決勝 に残ることを目標としていて、それが達成出来たので良かったです。 また、自分より速い人と走ることができ、刺激をもらえたし、力の違 いを体感することができました。走幅跳では、ずっと取り組んでいた

助走の安定が改善 されたことが良かっ たです。でも、まだ まだ課題が残る試合 だったので、県大会 では今の自分のベス トを出し切り、関東 選抜に進みたい です。」



走幅跳4位 磯野 110mH7位 藤原

磯野は走幅跳は、助走やクリアランスなどまだ修正中ですが、その 中でも最低限の跳躍は出来ました。

藤原のハードルは、取り組んで日が浅いですが、県大会では間違い なく記録を向上させてくれるはずです。

磯野:「自分の課題を新たに見つけることのできた試合になったと思 います。1本目でのファールを県大会では戦える記録をにしないと県 大会では納得のいく結果にはならないのでそこを修正していきます。ただ着地など練習で取り組んできたことを試合の中でできたこ とは収穫だと思います。県大会では7mを跳んで3位以内に入り関 東選抜に出ます。」

藤原:「110mHでは今年は地区で出場者が8名だけで、運良く入賞 ができましたが、県大会の本命は400mHなので、リズムアップと歩 数切替を重要課題として練習し、地区で全体9位で決勝を逃したの で県では準決に残りたいです。」



女マイル 課題多い5位

けキ チしるえのしけく 会会最つはが技こ1 れッか | 悪場 、厳いに、会をの重つ思実場ば69 スンの

菅原 1500m4位 3000m6位 2種目で立派な入賞

初日の1500mと2日目の3000mで入賞をしました。どちら も自己ベストの立派な走りでした。県大会でも戦えるタイムで す。県大会でもさらなる飛躍を期待です。

菅原:「2種目で自己ベストを更新し、入賞することができて嬉 しかったです。1500m、3000mともに予定通りのペースで入ることができたけど、最後までペースを保つことが精一杯と なってしまったので、ラスト200から150にかけての間でテン ポを上げることを意識しようと思いました。地区大会の反省を活かして、県大

会でもベストを更新し、決勝に進みたいです。」



土江 マイル5位 400m7位の2種目と 400mH(決勝を棄権)のまぼろしの入賞

400mと400mHの予選で自己ベストを更新しました。2本目以降がまだま だ走りきれないので、そこを県大会では少しでも、納得のいく走りをしてほし いです。

土江:「(400m)予選では、前半からスピードを上げて走ることで、自己ベストを更新することができました。しかし、決勝では、タイムを上げることができ ず、まだまだ改善できる点はあると感じました。県大会では、本数を重ねても、 タイムを上げ、3本走り切ります。(マイル) 自己ベストと今までの経験からし て、もっと走れるべきレースだったと思います。県大会では、マイルの緊張に負

入賞しました。県大会は日程がタイトですが、できる限りの力を尽くします。 〇西村:「初めてのマイルは前半からスピードをしっかり出し、ホームに出る手前から再加速を 始める、というフラットの400mで意識していることが同じように出来たと思います。オープン レーンになった時に抜かされた選手を最後まで追うことが出来なかったのが一番の反省だなと感じました。県大会で、もしまた2走を任されたら、オープンレーンになった時にしっかり前に出て良い位置を取り、そのまま最後まで走りきって59秒のラップで帰ってくることを目標とし、

思います。」 〇佐藤:「いろいろ考えすぎてしまって思うようにスピードを上げられず、自分が目指していたものとは程遠いレースで、本当に不甲斐ない走りをしてしまいました。県大会ではとにかく速くバトンを持って帰ってくることだけを考えて前半から思い切った走りをし、自分の力を出し切って今までの悔しさを晴らすレースをします。」